



より良いモノづくりのために 繊維製品の事故事例



モノづくりにおいて生地性能確認や縫製については様々な注意ポイントなどがあります。
そこで縫製や生地強度に関する「よくあるトラブル」をシリーズでご紹介します！

《今回のテーマ》 引張強さ・引裂強さの強度不足



現象

着用中、袖付け付近に破れが発生した。



原因

着用時に引張作用が加わり、強度の低い糸が切断され、破れが発生した。



対策

- ・事前検査による生地性能のチェックを行う(引張強さ・引裂強さ試験)
- ・糸番手(織度)を太くする、撚りを多くする等、糸の強度を強くする。
(生地風合等が変わる可能性があるため注意が必要)

試験内容

①事故部の観察をしてみよう



②繊維鑑別はどうか？

【JIS L 1030-1】

たて糸	絹
よこ糸	綿、ナイロン



切れているのはよこ糸ではなく、たて糸だケン！

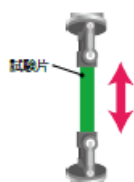
③引張強さ試験をしてみよう！

【JIS L 1096 ストリップ法】

【定速伸長形(5×20cm) 引張速度:20cm/分】

たて	62.5 N
よこ	42.5 N

【一般的要求性能：150N以上】



④引裂強さ試験をしてみよう！

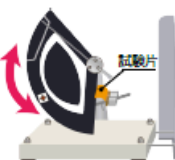
【JIS L 1096 ベンジュラム法】

たて	2.8 N
よこ	2.4 N以上 (引裂方向に対して直角に切断)

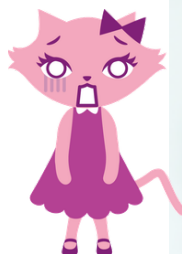
【一般的要求性能：7N以上】



引張強さも引裂強さも一般的要求性能を満たしていないケン！



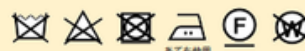
パッキリ！！



品名及び組成

ブラウス
綿 60%
ナイロン 25%
絹 15%

取扱い絵表示および原産国表示



上記の内容についてご不明な点等ございましたらお近くのボーケンまでお気軽にお問い合わせください

公式インスタグラム

■ 東京試験センター ☎ 03-5669-1380
〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

■ 大阪試験センター ☎ 06-6577-0200
〒552-0021 大阪市港区築港1丁目6番24号

■ 名古屋試験センター ☎ 052-231-0861
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目25番15号

■ 岡山試験センター ☎ 086-231-2700
〒700-0936 岡山市北区富田422-1



@BOKEN1948